

市長から 市民のみなさんへ 32



山陽小野田市長 白井 博文

まちづくり市民会議「太平洋セメント住吉社宅検討」部会を設置します

私が子ども時代を過ごした住吉神社の近くに、当時の小野田セメントの重役クラスの人が住む社宅がありました。オレンジ色の屋根瓦が特徴の、モダンな造りのその建物の側を通るたびに「どんな人が暮らしているのかなあ」と思い巡らせたことが記憶に残っています。

先日、太平洋セメントの方とお会いする機会があり、幼少時の思い出とともに住吉社宅のお話をしたのがきっかけで、今は住む人がいないそれらの5棟の建物のうち、1棟を市にお貸ししていただけることになりました。ただし、市が維持管理するということが、建物の改修が必要であるということなどから、いくらか費用がかかることが想定されます。市が財政難の折、この建物にかけのお金はないことは重々承知していますが、せっかくのご好意でお貸しいただくことになったのですから、何らかの施設として、例えば、高齢者が気軽に集まることのできる“地域交流スペース”などにも活用できればという希望があるのも正直なところです。そこでまちづくり市民会議を設置して、市民のみなさんに借用の是非や活用・運営方法についてアイデアをいただくことにしました。

先ほども触れましたが、市の苦しい台所事情を考えると、たとえみなさんから素敵なアイデアをいただいたとしても財政に余裕が生まれるまではその実現は難しいかもしれません。しかし、何かと難しい問題が続く中で、小さな案件とはいえ、市民のみなさんとまちづくりについての夢を語り合う場ができたことは、久しぶりの明るい話題としてうれしく思うのです。多くの方のご参加をお待ちしています。

市民まつりの概要が決まりました

昨年、新しい市民まつりについて話し合っていた、まちづくり市民会議「市民まつり検討」部会での提言を受けて、新たに祭りの企画・運営について検討を重ねてきた実行委員会のみなさんにより、今年の市民まつりの大まかな内容をまとめていただきました。詳細は最終ページに掲載していますが、10月

28日の埴生漁港の“お祝い夢花火”にはじまり、翌29日には7月にオープンしたばかりの県立サッカー場を会場に盛りだくさんのイベントが予定されています。グラウンド2面に360度、どこからでも観覧できる巨大なステージが設置されるそうで、そこでは龍王伝説と寝太郎太鼓の競演など楽しい演目が目白押しです。また、まちづくり市民会議の提言書に「日本一のもの」に何かチャレンジしたらどうだろうかというアイデアがありましたが、それが「日本一のもちまき」という形で実現されることになりました。これまで最高の700キログラム以上のもちがまかれると聞いています。豪快、盛大な情景を思い浮かべると今からワクワクしてきます。

今回の第1回市民まつりは、構想段階からの多くの方々の熱意が一つの形として結晶したものだと思います。一人でも多くの市民の方にご来場いただき、思いやり楽しんでいただきたいと思います。

第3回の現代ガラス展が開催されます

表紙でご紹介していますように、「第3回現代ガラス展 in 山陽小野田」の入賞作品が決定しました。審査会の当日、私も全国から応募された138作品が並べられた会場に入りましたが、作品の迫力に圧倒され、改めてガラス工芸の素晴らしさを体感したところです。

シンプルな作品にもかかわらず、「今までにない世界レベルの技法」と審査委員長の横山先生から絶賛された阿比留^{あびる}さんの大賞作品、細いガラスの棒を何百本も接合するという、気が遠くなるような時間と情熱を注ぎ込んで完成された森さんの優秀賞作品など、入賞作品は出品作全体のレベルの高さを象徴するものでした。このガラス展が若手作家の登竜門としての地位を確立しつつあることをうれしく思います。

入賞作を含め現物審査を通過した70点による「第3回現代ガラス展 in 山陽小野田」は、国民文化祭に先立ち、10月13日からきらら交流館で開催されます。素晴らしい作品の数々は必ずや観る人に感動を与えることでしょう。多くの方のご来場をお待ちしています。



対話の日

9月14日(木) 中村公会堂 (埴生地区)
9月28日(木) 大休自治会館
10月12日(木) 東下津公会堂
10月26日(木) 須恵西自治会館
※19:00から 1時間30分程度です